

Why?

「国際競争力」とは？
⇒人や企業(投資)を磁石のように引き付け、イノベーションを巻き起こす力

✓「ネットワーク型発展」の時代にあって、世界的な大競争に勝ち残るには、都市を単に「拡大(Expansion)」させるだけでは不十分

✓核となる都市とその周辺地域とからなる「広域的な地域(Region)」を、継続的な成長エンジンの原動力を有する「面」として「発展(Development)」させる

✓イノベーションの中核を担うメガリージョン(Mega-regions)の形成に向けた産学官の戦略的連携(Strategic Alliance)が必要

What? & How?

世界のイノベーションセンター(メガリージョン)となるには？
⇒広域的な戦略目標を共有し、地域を変えたいという意思(Will)を持った取組を促す

✓リージョン毎の「強み」を「価値」として明確化し(ブランディング戦略)、それを自らの創意工夫で内発(創発)的に次々とイノベティブな取組として打ち出す(創発戦略)

✓また、以下の広域的な政策課題について、リージョン毎にHOW(目標実現に至る道筋)とWHO(責任と権限をもって実行する主体)を明確化

- ①港湾・空港等の基幹的交通インフラの国際競争力の強化と広域物流戦略
- ②広域観光振興戦略
- ③広域産業集積、投資促進戦略
- ④広域環境保全戦略
- ⑤「創造的人材(ソーシャル・アントレプレナー)」の育成・確保に向けた産学連携戦略
- ⑥広域的な都市間連携戦略
- ⑦国境を越えた地域連携戦略

Who?

戦略を実現する主体は誰か？
⇒広域的な体制づくりから始めるのではなく、政策課題毎に多様な主体が連携して戦略的に取り組む「シンク&ドゥタンク」型主体の活動を促す(段階的接近法)

✓我が国のリージョンにとっての成長戦略は、既存の主体による総花的な対応ではなく、産学官のイノベティブな取組をいかに活性化するかが鍵

✓広域的な政策課題毎に、多様な主体が連携して、府省、地方自治体の枠を超えた取組を行う「シンク&ドゥタンク」型の主体に、法制的にも責任と権限を与える仕組みを検討すべき